

3-⑦ 在宅復帰率

在宅復帰率は、回復期リハビリテーション病棟の施設基準の要件となっており、入院料1の場合70%以上が基準となっています。

ADL（日常生活動作）の向上による、在宅復帰を目指すという回復期リハビリテーション病棟の本来の役割を果たせるよう、多職種で共同しチームアプローチを実践し、カンファレンス等を通じて患者さんができる限り在宅復帰ができるよう支援しております。

在宅復帰率(%)

